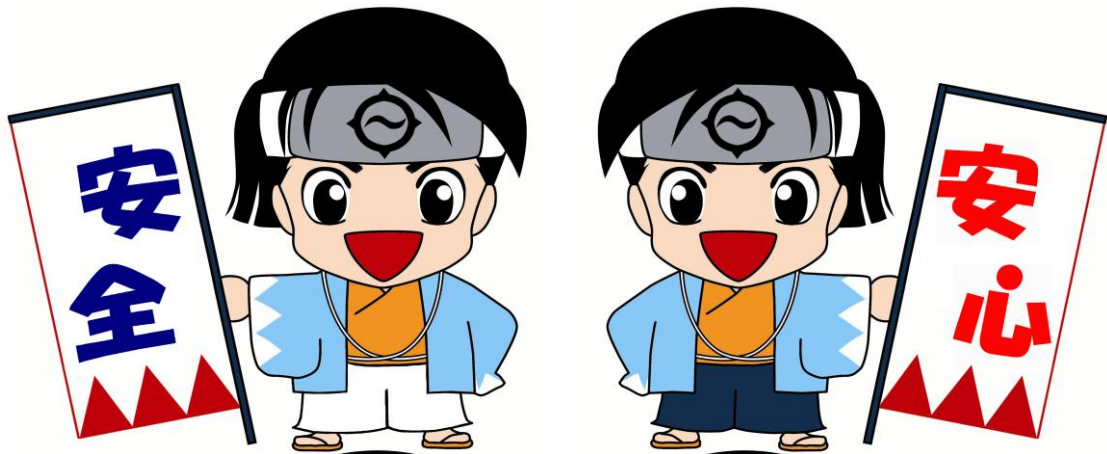


～犯罪に強いまちづくり～

日野市では、防犯パトロール・清掃活動・子どもへの安全教育など、安全・安心への活動をする“自主防犯組織”を支援しています。

みんなの力でまちを守ろう

“自主防犯組織”のご案内



日野市総務部防災安全課

犯罪に強いまちづくり

地域や子どもの安心のために……

日野市が防犯ボランティアをお手伝いします！

キーワードは

“犯罪の機会＝^{すき}隙”を失くし、
子供や街を自分たちで守る！

【どんな活動？】

「安全や安心を自分たちの力で守ろう」と自主的な防犯活動を行う取組み（防犯ボランティア活動）が広がっています。

【仲間】現在、登録団体は 150 団体を超えました。

【実績】活動地域では、**犯罪発生が減少**など成果を挙げています！



市では、このような皆さまへ

- ①防犯ベストなどの防犯グッズの貸与
- ②活動時の“もしも”に備えた保険加入
- ③必要な防犯用品購入や活動資金の助成

等の支援をしています。



日野市では防犯ボランティアの支援
(バックアップ) をしているんだよ！

防犯ボランティアとは？

地域の安全のために 「無理をせずに、できることを」 する活動です！

防犯ボランティア団体では、防犯パトロール、防犯広報、環境浄化、防犯指導・診断、子どもの保護・誘導、危険箇所点検などの活動が行われています。

これら自主防犯活動のポイントは、「無理をせず・できることから」始めることです。

例えば、1979年にアメリカニューヨークで設立され、治安回復に貢献している防犯ボランティア団体「ガーディアン・エンジェルス」の場合、彼らが最初に始めた活動は、街に落ちているゴミ拾いでした。

これは、街の環境の悪化が次々と犯罪を誘発させ、治安を悪化させていることに着眼した「割れ窓理論」*に基づくものでした。

町内でのあいさつ、声かけ活動や散歩・買い物時のパトロール、通学路の見守り活動でも犯罪者を寄せ付けられない目を確保し、防犯灯の点検、落書きの消去などの環境浄化活動でも犯罪企図者の接近を防止するという効果があります。また、これらの活動は地域の共同意識の向上につながります。

そして、共同意識が街そのものを犯罪から強くすると考えられています。つまり、防犯ボランティア活動とは、「犯罪に強いまちづくり」といえます。

無理は禁物！

一人一人が防犯に関心を持って、
「出来ること」だけすれば良いんだ！



*割れ窓理論・・・犯罪学用語。アメリカの犯罪学者ジョージ・ケリングが考案。「建物の窓が壊れているのを放置すると、誰も注意を払っていないという象徴になり、やがては他の窓もまもなく全て壊される」との考え方。犯罪環境論。



実際の活動例を紹介するよ！
活動内容は自由自在のアイデア次第！
“自分に出来ることをできる範囲で” という
気持ちを忘れずにね！

□ 防犯パトロール・子どもの見守り活動

～仲間と一緒に街に出て、防犯パトロールをする活動です

- ① 仲間と一緒に、“見せる”防犯パトロール
ご近所の方や仲間と一緒に、目立つ姿でパトロールをします。
目的は、大きく二つです。
一つ目は、「防犯の視点」で自分たちの街をパトロールすることで、
危ない場所や問題点に気づくことです。
二つ目は、「パトロールしているんだぞ」という姿を見せて犯罪者を
追い返すことはもちろん、子供を含めた地域の人たち防犯意識を高め
てもらおうことです。
- ② 子供から見知らぬ人まで積極的に声をかける
犯罪者は挨拶や声をかけられることを極端に嫌います。
また、挨拶を交わすことで地域の活力が向上し、地域の力が養われ
ていきます。
- ③ 犯罪や非行を見かけたら、すぐに 110 番通報をする
パトロールは「防犯の感覚で地域を歩くこと」が目的です。
犯人の制圧など、危険なことを求めるものではありません。
“地域之力”で犯罪から地域と子どもを護りましょう！



□ 環境整備事業

～地域の環境を整えて、犯罪に強いまちをアピールする活動です

- ① パトロールをもとに地域の安全環境を考える
落書きや放置ゴミは、荒廃したイメージを与え、犯罪を呼び込みます。
パトロールをとおして、自分の街の安全状況を確認します。
- ② 清掃活動や落書き消去活動などによる防犯活動
落書きや廃棄物などの問題点を排除して安全な環境を整え、犯罪に強い街をアピールします。
また花壇の作成など、“さらなる環境浄化”でもかまいません。
また、パトロールと同じく、環境整備をとおして“地域の安全”に参加することで共同意識が高まります。



□ 防犯に関する学習・啓発事業

～仲間と一緒に防犯について学び、それを伝える活動です

- ① 仲間と一緒に地域の安全について考える機会をつくる
講話等の防犯イベントを実施して、防犯意識を高める活動です。
例えば、子どもを対象とした防犯イベントをとおして、子ども本人に防犯知識を与えることで、子どもを犯罪の魔の手から救います。
- ② 活動や防犯に関する情報を広報する
自分たち自身がパトロールで得た知識や防犯に関する情報を、地域の仲間に広める活動です。
冊子・新聞・ホームページなど、活動は自由です。



市では、このような支援をしています！

● 防犯パトロールグッズの貸与

防犯パトロール活動用ベストや帽子など、防犯グッズを貸し出しています。



貸出パトロール用品	
<input type="checkbox"/>	ベスト
<input type="checkbox"/>	腕章
<input type="checkbox"/>	帽子又はサンバイザー
<input type="checkbox"/>	防犯ホイッスル
<input type="checkbox"/>	防犯幕
<input type="checkbox"/>	青色回転灯
<input type="checkbox"/>	自動車用防犯プレート

● 防犯パトロール・ボランティア保険

活動中の“もしも”に備える保険です。(費用は市が負担します)

1 賠償責任補償保険

活動中にケガをさせたり、財物を損壊して法律上の損害賠償責任を被った場合の保険です。

身体賠償	1名につき	上限1億円
	1事故につき	上限10億円
財物賠償	1事故につき	上限2000万円
免責金額	1事故につき	なし

2 見舞金補償保険

活動中の事故でボランティアが死亡・後遺障害、入院・通院を伴う傷害を被った際の保険です。

1名あたり	死亡	500万円
	後遺障害	15～500万円
	入院	1日:2万円～
	通院	1日:5000円～

● 活動用品など購入助成

新規活動団体に対し、10万円を上限にしてジャンパーなどの活動用品購入のための助成をしています。

対象経費	基準(例示)
報償費	講師謝礼(研修会等の講師)
需要費	消耗品費(文房具、消耗器材、被服等で単価が1万円満のもの) 印刷製本費(ポスター、パンフレットの印刷等)
役務費	通信費(切手代等の郵便料)
備品購入費	備品購入費(資機材等で単価が1万円以上のもの)
使用料及び賃借料	会場等借上料(研修会等の会場使用料)
工事費及び修繕費	工事費(看板、掲示板等の設置費) 修繕費(看板、掲示板等の修繕費)
旅費及び研修費	交通費(研修会等の交通費) 研修費(研修会等の参加費)

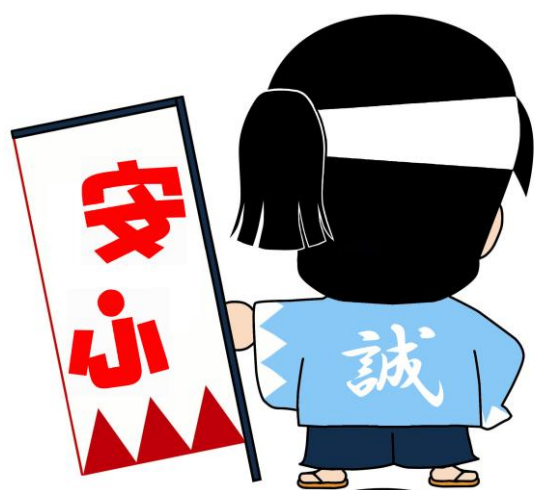
また、この他にも

- 落書き除去用品などの貸し出し
- 市公式ホームページ上に、防犯ボランティア活動の掲載
- 地域防犯研修会や地域安全マップ作成のための、各種講師派遣の要請
- 各防犯ボランティア間の交流を図る会議

などを実施しています。

防犯ボランティアは、自由自在！
色々なアイデアをどんどんだして、
まずは仲間とやってみよう！





お問い合わせは

市公式ホームページ・日野市防災安全課まで

電話にてご質問もお受けしています。ぜひご連絡ください。

総務部/防災安全課 電話:042-585-1100

電子メール:bousaianzen@city.hino.lg.jp